

長崎県保健事業支援・評価委員会の 取り組みについて

～平成28年度に実施した個別保健事業評価の支援～

長崎県国民健康保険団体連合会 保険者支援課 末永恵子

本日の内容

- 1 長崎県の紹介
- 2 長崎県保健事業支援・評価委員会の概要
- 3 平成26～27年度の活動
- 4 平成28年度の活動:WGの取り組み
- 5 平成28年度の活動:全体研修会
- 6 今後の取り組みについて

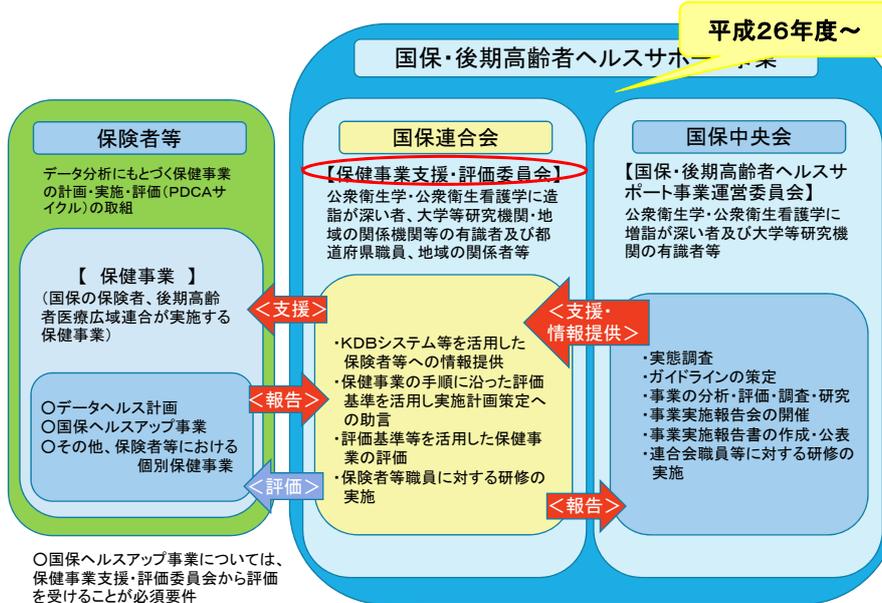


長崎県の紹介

長崎県 ※KDBデータ H27年度(累計)より	
人口	1,411,818人
高齢化率(65歳以上)	26.1%
国保被保険者数(加入率%)	399,039人(28.3%)
被保険者平均年齢	51.5歳
国保被保険者数	21市町、4国保組合
特定健診受診率	38.6%
特定保健指導実施率	41.8%

3

1. 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の全体像



国民健康保険中央会 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業ガイドライン(平成28年1月)より

4

2. 長崎県保健事業支援・評価委員会の概要

長崎県保健事業支援・評価委員会(国保連合会に設置)

- ・ヘルスサポート事業として、保険者がデータヘルス計画を策定し、保健事業を実施するにあたり、国保連合会に公衆衛生をはじめとする外部の専門家等で構成する「支援・評価委員会」を設置し、**保険者の申請を受けて、計画策定や事業実施の報告を受けての支援・評価を行う事業を実施**
- ・構成 11名 大学等の公衆衛生・公衆衛生看護学の専門家
協会けんぽ、保健所等
※平成28年度～ 8名→11名
- ・委員会開催 平成26年度 3回
平成27年度 6回
平成28年度 4回
- ・研修会開催 保険者や県保健所職員等を対象にデータヘルス計画に関する研修会を開催

5

2. 長崎県保健事業支援・評価委員会の概要

長崎県保健事業支援・評価委員会 委員の構成

	平成26年度(8名)	平成27年度	平成28年度(9名→11名)
委員長	長崎県立大学 副学長 (保健師)		
副委員長	国立病院機構長崎医療センター (医師)		
	長崎大学大学院教授 (保健師)		
	全国健康保険協会長崎支部(業務 部部長)		
	長崎県福祉保健部国保部門 (医師)		
	保健所代表 (保健師)		
	長崎県福祉保健部国保部門(総持 課長補佐)		
	長崎県福祉保健部健康づくり部門 (保健師)		
オブザーバー	長崎県国保連合会 (常務理事)		

・平成28年4月～長崎県福祉保健部
医師:異動後も委員継続
・WGとして 平成28年8月～
長崎県立大学教授等 保健師 2名
→
平成28年12月～
支援評価委員会委員として活動

6

2. 長崎県保健事業支援・評価委員会の概要

長崎県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会設置要綱

※一部抜粋

1. 目的

長崎県国民健康保険団体連合会(以下「連合会」という。)に、市町国民健康保険、国民健康保険組合及び後期高齢者医療広域連合(以下「保険者等」という。)が実施するレセプト・健診情報等を活用した保健事業が、PDCAサイクルに沿って効果的・効率的に展開することができるよう支援するため、長崎県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2. 所管事項

- (1) KDBシステム等を活用した保険者等への情報提供
- (2) 保健事業の手順に沿った評価基準を活用し実施計画策定への助言
- (3) 評価基準等を活用した保健事業の評価
- (4) 保険者等職員に対する研修の実施
- (5) その他

3. 構成

- (1) 委員会は、連合会理事長が委嘱する委員をもって構成する。

長崎県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会設置要綱 より

7

～平成26年度の活動～

7月 支援・評価委員会の設置

※職員による保険者訪問と聞き取りの実施
・既存事業の聞き取り
・事業計画の構想
・計画策定に着手 等

・10月 ヘルスサポート事業申請書の提出(13保険者)

10月 特定健診・保健指導に関わる実務者研修会

- ・ヘルスサポート事業について
- ・データ分析による地域の状況、健康課題の把握について
- ・厚労省様式等の各保険者のデータをもとに演習

11月 第1回支援・評価委員会の開催

・11月 申請保険者に対する説明会

12月 KDBシステム等に関する保険者説明会

- ・KDBシステム操作説明、活用方法 等

12月 第2回支援・評価委員会の開催

<保険者>
データヘルス計画・個別保健事業の策定

保険者からの聞き取り内容を事務局が報告(12保険者)

平成27年2月 第3回支援・評価委員会の開催

保険者参加型: 保険者からの計画策定状況と現状報告(9保険者)

8

～平成27年度の活動～

※平成27年3月 ヘルスサポート事業申請書の提出(16保険者)

※①データヘルス計画及び個別保健事業計画の策定支援(データ分析、目的・目標・評価指標の設定、健康課題の明確化)

②個別保健事業の評価(事業実施に対する評価)

6月 第1回支援・評価委員会の開催 (3保険者)

保険者参加型: 保険者からの計画策定状況と現状報告

7月 第2回支援・評価委員会の開催 (5保険者)



9月 第3回支援・評価委員会の開催 (4保険者)

※他保険者の計画や保健事業の内容、支援評価委員会委員の助言内容を聞くことができる。

10月 第4回支援・評価委員会の開催 (2保険者)

※連合会保健師3名: 地区担当制・情報共有

12月 第5回支援・評価委員会の開催 (4保険者)

平成28年2月 第6回支援・評価委員会の開催 (2保険者)



3月 国保データ等を用いたデータヘルス計画等の

- ・データヘルス計画について
- ・集団のデータ分析について
- ・ワークショップ「質的な情報の活用と連携」

支援・評価委員会委員が講師
ファシリテータに**保健所**からも!

9

～平成28年度の活動～



※平成28年3月 ヘルスサポート事業申請書の提出(11保険者)

※①データヘルス計画及び個別保健事業計画の策定支援(データ分析、目的・目標・評価指標の設定、健康課題の明確化)

②個別保健事業の評価(事業実施に対する評価)

6月 第1回支援・評価委員会の開催 (2保険者)

訪問型:
・保険者に訪問しワークショップ実施
・庁内関係者の出席。
・保健所の出席

6・7月 保険者訪問(支援評価委員会委員訪問)

★8月 WG委員 2名就任

9月 第2回支援・評価委員会WG合同会議の開催

訪問型:
・支援評価委員会前に聞き取り訪問を実施→保険者で再検討→支援評価委員会で協議→再度保険者で協議

10・11月 保険者訪問(WG委員訪問)

12月 第3回支援・評価委員会の開催 (3保険者)

※様式Step8、9

12月 保険者訪問(支援評価委員会委員訪問)

2月 第4回支援・評価委員会の開催 (3保険者)

3月 研修会

3月 保険者訪問(支援評価委員会委員訪問)

10

～平成28年度の活動～
 (WGによる保険者訪問・聞き取り 報告書より)

日時	平成28年11月16日(水)10:00～12:00
場所	K町役場 2階 会議室
保険者名	K町
出席者	5名:国保年金係(事務職2名) 健康増進班(保健師3名)
訪問者	7名:長崎県立大学(看護学科教員1名 研究補助1名) 県央保健所(保健師1名)、 国保連合会(事務職1名 保健師3名)
取り上げた事業	重症化予防としての健診未受診者対策 (若年層40～64歳を対象)
訪問目的	保険者が事業を通して評価・改善の仕組みづくりを理解し、確立できる。
協議内容	1. 事業概要説明(保健師代表による全体説明) 2. 訪問者からの質問(実態の共有、課題の明確化) 3. 訪問者からの助言、提案(参考資料の提示) 4. 保険者の反応・新たな発想、気づき 5. 次年度に向けた目標確認 6. 今日の成果及び訪問者からの応援メッセージ

15

～平成28年度の活動～
 (WGによる保険者訪問・聞き取り 報告書より)

ストラクチャー	<p>【現状・気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進班の保健師と栄養士が若年層(40～64歳)健診未受診者を訪問した。今後は国保年金係の協力を得て、主担当を決めたい。 ・健康増進班は、母子、成人関連業務両方を担当。成人は、特定保健指導、訪問対象者の抽出等、作業量が多い。 ・国保年金係も特定保健以外の業務(窓口対応、報告書作成等)が多い。 ・全町38地区あり、規模や協力体制にばらつきがある。過去に地区別の受診率を広報に掲載したが継続していない。 ・愛育班や食生活改善推進員の協力は得られる。(健診時のぼり旗、チラシ配布、声かけ、訪問など) <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の地区組織の協力を得る。そのためには、全町の受診状況や地区別の受診率など経年的な資料を提示し、協力の必要性を促す。 ・データの比較・分析、その他の協力機関の発掘など保健所や国保連合会の助言・協力を得る。
---------	--

16

～平成28年度の活動～

(WGによる保険者訪問・聞き取り 報告書より)

<p>プロセス</p>	<p>【現状・気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40～60歳の前年度健診未受診者かつ未治療者に対象を絞り訪問することができた。 ・年間の受診勧奨スケジュールを立案できないまま取り組んでしまった。 ・働いている人がほとんどであり、不在が多かった。 ・年齢層に応じた受診勧奨を検討する必要性を感じた。 ・訪問することで未受診の理由を聞くことができた。(病院嫌い、病院受診している、時間がない等) ・日本ハムの看護師の声かけでパート職員の特定健診、がん検診の勧奨につながった。 ・全町民対象のがん検診調査票に特定健診に関する項目も追加すれば、その後のフォローにおいての効率性、支援の質の向上が図れる。(世帯ごとの名前、受診場所、受診希望の有無とその理由等を尋ねる。) <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業まつり、健康福祉まつり、PTA総会など対象層が集まりやすい年間行事予定を把握して受診勧奨スケジュールを立案する。 ・協力機関として商工会、民間企業などにも働きかける。 ・全町民対象のがん検診調査票に特定健診に関する項目を追加することを関係部署(健康増進班と国保年金係)で話し合う。40歳の人間ドックを受診した人の意見・感想・動機など尋ね、次の受診に活かす。
-------------	--

17

～平成28年度の活動～

(WGによる保険者訪問・聞き取り 報告書より)

<p>アウトカム</p>	<p>【現状・気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.10月末現在の40～64歳の健診受診率24.3%(目標35%) ・H28.10月末現在の40～64歳の健診・治療なしの人の割合28.5%(目標25%) ・総合健診前に380人の対象者に1回訪問した。 ・集団健診希望の未受診者に受診勧奨の文書を60人送付した。住民の立場にたって健診の必要性について記載した案内にした。 ・訪問した人のうち受診したのは37人(9.7%)。4割は病院受診していた。男女比は1:1だった。 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問した人のうち受診した37人の背景、受診動機、その後のフォローを調査し、今後の受診勧奨に活かす。 ・訪問者の働きかけ、文書の内容など支援の質的評価となる。また、今後のレベルアップにもつながる。
<p>保険者から出された次年度に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民組織を巻き込む。 ・具体的に年度末までに国保年金係と健康増進班が連携して広報内容を事前に話し合う。 ・訪問して受診した37人がどういう人達で何故受診したのか明らかにする。



18

～平成28年度の活動～

(WGによる保険者訪問・聞き取り 報告書より)

所感 <一部抜粋>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問は課題を明確にしてPDCAサイクルの意識化だが、保健師と事務方双方に異なる課題があることが分かった。車の両輪と位置付け、両者の相互理解と、両者にとってのPDCAが明確化するように運ぶ必要がある。 ・話し合いを通してそれぞれの立場で情報提供し、互いに共有することで課題が明確になった。この体験を通して話し合うことの重要性を再認識できたと思う。 ・基盤となる支援者には住民も含まれることを認識し、住民の主体性を引き出す方法を今後も検討してほしい。 ・プロセスの効率化、質向上のための手法を理解し、他の事業にも応用してほしい。 ・質の評価の重要性について37名の受診者の調査から明確化することを期待したい。 ・大学が提供した資料で地域全体を視野に入れることで効率的に支援できることを実感してもらえた。地区把握の重要性の再認識に、つながった。 ・今後は、評価指標を用いて再度検討することで、新たな気づきから新たな課題へと発展し、保健活動の質の向上につなげてほしい。 <p>以上から訪問目的は、達成できたと考える。今後も保険者が実施する事業のPDCAサイクルをサポートしながら、支援方法を検討したい。</p>
---------------------	--

19

大学提供資料とは・・・

※一部抜粋

実施主体	基盤 (ストラクチャー)	実施・実績 (プロセス)
行政：国保課	国保年金係	
行政：保健	健康増進班、長崎県国保連合会等が行うデータヘルスに関する研修会、第2期特定健康診査等実施計画 K町データヘルス計画、K町健康増進計画、K町歯科保健推進計画、K町新型インフルエンザ等対策行動計画	
行政：その他	介護保険係、第6期K町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、K町行政改革大綱実施計画	広報・広聴
関係機関：医師会	郡医師会、歯科医師会	
関係機関：保健所	長崎県、保健所	こころの健康づくり
関係機関：その他	長崎県国民健康保険団体連合会、K町社会福祉協議会、商工会、K町農業委員会、K町漁業協同組合、K町観光協会、K町教育委員会、K町文化協会、シルバー人材センター、地区保健福祉組合、学校、保育園 認定こども園、子育て支援センター	学校施設の活用(健全育成活動、地域住民の生涯学習活動等) K町総合計画審議会 住民意識調査(回収率22.2%)
住民：組織	ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員、自治会、K町老人クラブ連合会、K町婦人会、母子愛育班、ボランティア団体、食生活改善推進協議会、母子保健推進員、子供育成会連絡協議会、観光ボランティアガイド、まちづくり団体	愛育食育フェスティバル 健診のよびかけ、家庭訪問(母子保健推進員)、学校支援会議、青少年育成町民会議、他市町との交流
住民：	地域見守りネットワーク構築地区(H26 12地区) 婦人防火クラブ(19地区)、地域パトロール活動 交通指導員、交通安全母の会、K史談会	町民大運動会 体験型学習(農業体験、ボランティア活動)

20

～平成28年度の活動～ 全体研修会

※ヘルスサポートに申請がなかった市町も対象

データヘルスの推進にかかる研修会開催要領

※一部抜粋

【目的】

本研修会は、保険者がデータヘルス計画を策定し、個別保健事業を実施し、PDCAサイクルに沿った評価・改善の仕組みを理解することを目的とする。

【主催・共催】

主催／長崎県保健事業支援・評価委員会
共催／長崎県国民健康保険団体連合会

【対象者】

- ①市町村
- ②その他保険者(国保組合、後期高齢者医療広域連合)
上記①②における
データヘルス計画及び個別保健事業実施計画に関わる者
その他の保健事業計画に関わる者 等
- ③長崎県(国保・健康増進課、福祉保健課、各保健所)

【事前課題】

参加者は、研修会当日に受付で事前課題を提出していただきます。
同封の事前課題用紙をメールで添付することも可能ですので、希望される場合は受講申込書のメールアドレス欄に必要事項を記入し返信ください。

21

～平成28年度の活動～ 全体研修会

平成28年度 データヘルスの推進にかかる研修会

時間	内容
10:00	受付
10:30	○主催者挨拶 長崎県国民健康保険団体連合会
10:40	○説明事項(20分) 「データヘルスに対する支援・評価委員会の取り組み」 長崎県国民健康保険団体連合会
11:00	○講演(60分) 「個別保健事業計画の目的・目標・評価指標の設定や見直しについて」 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授 大西 真由美 氏
12:00	休憩(60分)
13:00	○講演(30分) 「ここが肝心 CとA ～次年度に向けた仕掛けと段取り～」 長崎県立大学看護栄養学部 学科長/教授 久佐賀 真理 氏 ○グループワーク(135分) 1)事例提供者のP-D-C-(A)サイクルを一緒に辿り、気づきを「ストラクチャー」「プロセス」「アウトプット」「アウトカム」に分類します。 2)「ストラクチャー」を取り上げて、次年度の新たな目標、評価指標と方法・内容を検討します。 ○総まとめ(15分) 長崎県立大学看護栄養学部 学科長/教授 久佐賀 真理 氏
16:00	閉会

※支援評価委員会
や保険者訪問の中
で協議の中に多く
取り上げたものや
課題となったものを
テーマに抽出

22

～平成28年度の活動～ 全体研修会 ※事前課題

保険者名
提出者氏名

■データヘルスの推進にかかる研修会 事前課題シート 1

1) 次の2つの中から、テーマを一つ選び、○をつけてください。

① 若年層の健診受診率向上について	
② 重症化予防事業の取り組みについて	

2) 上記1) で選択したテーマの中で、現在取り組まれている個別保健事業の一つについてご記入ください。

項目	個別保健事業計画概要の記入欄
1 事業名	健康課題
	事業目的(事業1年目の目的)
	事業目標(事業1年目の最終目標)
	評価指標、評価指標の集め方、事業評価の方法
2 保健事業の実施内容	
	対象者(年齢、性別、対象者数、性質など)
	事業の方法と内容
	事業実施体制

■データヘルスの推進にかかる研修会 事前課題シート 2

3 事業評価

① 目標を達成するために 行ったこと・行おう としたこと	② 「①」に対する 実績	③ 気付き	④ ※1 今後の課題	※1

⑤ 次年度に行うこと(対策)

※1 「③気付き」、「④今後の課題」に記入した内容が、次の1～4のどの評価の観点に該当するか、番号をご記入ください。

- 1 ストラクチャー(構造)・・・誰が、どういう体制で
- 2 プロセス(過程)・・・どのように
- 3 アウトプット(事業実施量)・・・どれだけやって
- 4 アウトカム(結果)・・・その結果どうなったか

23

～平成28年度の活動～ 全体研修会 ※グループワーク構成

平成28年度 データヘルスの推進にかかる研修会 【グループ名簿】 ※一部抜粋

No.	保険者名	所属	役職/職種	性別	テーマ番号	グループ	保健所	支援評価委員 国保連合会等
1	A市	健康づくり課	保健師	女性	①	1G (5名)	香岐保健所	A
2	B市	健康増進課	保健師	女性	①			
3	21 C町	健康相談センター	技師/栄養士	女性	①			
4	22 C町	保険環境課	事務職	男性	①			
5	23 D町	健康保険課	保健師	女性	①			
6	4 E市	保健センター	事務職	男性	①	2G (5名)	西彼保健所	※各グループに、保健所と支援評価委員会委員を配置
7	7 B市	健康増進課	栄養士	女性	①			
8	11 F市	健康政策課	事務職	女性	①			
9	16 G町	健康保険課	保健師	女性	①			
10	20 C町	健康相談センター	技師/保健師	女性	①			
11	1 A市	国民健康保険課	事務職	男性	②	3G (4名)	香岐保健所	C 国保連合会
12	8 H市	健康保健課	保健師	女性	②			
13	10 F市	健康政策課	保健師	女性	②			
14	13 I市	健康づくり課	保健師	女性	②			

※グループには、事務職、男性を振り分けた。

※各グループに、保健所と支援評価委員会委員を配置

～平成28年度の活動～ 全体研修会 ※グループワーク

時間	内容	備考
13:30	1) 役割の決定 (記録者は事前をお願いしています) (2分) ▶グループ内で司会者を決定。 2) 自己紹介 (1人1分) ▶所属、名前、研修会で学びたい事を一言。 3) 個別保健事業計画の紹介 (1人5分+5分) ▶事前課題シート1の概要を紹介。取り組んだ感想を一言。 ▶事例提供者を1人決定。	40分
14:10	4) グループでの協議 事例提供者の事前課題シート1・2の加筆修正 ①シート1・2を用いて事例提供者のP-D-C-(A)サイクルを一緒に辿り、事例提供者の気づきを広げる。 ②気づきを「ストラクチャー」「プロセス」「アウトプット」「アウトカム」に分類し、番号をつけ整理する。 ③それぞれ次年度に向けた課題を思いつくだけ上げてみる。 ④「ストラクチャー」の課題を取り上げて、課題それぞれに次年度の目標と評価指標、取り組み内容を記載する。	70分
15:20	5) グループワークを参考に自分の事業に当てはめよう! ▶グループで協議した内容を参考に、自分の事業のストラクチャーについて次年度計画を立案。	15分
15:35	6) グループ内での共有 (振り返り)	10分
15:45		

25

～平成28年度の活動～ 研修会【前】アンケート

本研修の内容		ご自身の状況			
		4段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)			
①データヘルスに対する支援・評価委員会の取り組み	①-1. 長崎県における保健事業支援・評価委員会の取り組み内容を理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
②個別保健事業計画の目的・目標・評価指標の設定や見直しについて	②-1. 事業の「目的」の立て方について理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
	②-2. 事業の「目標」の立て方について理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
③ここが肝心 OとA ~次年度に向けた仕掛けと段取り~	③-1. 評価の視点「ストラクチャー」について理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
	③-2. 評価の視点「プロセス」について理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
④グループワーク	③-3. 評価の視点「アウトプット」について理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
	③-4. 評価の視点「アウトカム」について理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			
	③-5. 「PDCAサイクル」の重要性を理解している	4. 理解している	3.	2.	1. 理解していない
		----- ----- ----- -----			

26

～平成28年度の活動～ 研修会【後】アンケート

本研修の内容		達成状況	
		4段階(前ではまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由
①データヘルス に対する支援・ 評価委員会の取 組み	①-1. 長崎県における保健事業支援・評価委員会の取 組み内容を理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	②-1. 事業の「目的」の立て方について理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	②-2. 事業の「目標」の立て方について理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	②-3. 「評価指標」の立て方について理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	②-4. 評価を意図した目的・目標を立てることについて 理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
②-5. その他、気付きや感想等をご記入ください。			
③ここが肝心。○ とA～次年度に 向けた仕掛けと 取組めるグルー プワーク	③-1. 評価の視点「ストラクチャー」について理解してい る	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	③-2. 評価の視点「プロセス」について理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	③-3. 評価の視点「アウトプット」について理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	③-4. 評価の視点「アウトカム」について理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
	③-5. 「PDCAサイクル」の重要性を理解している	4. 理解している 3. 2. 1. 理解していない	
③-6. その他、気付きや感想等をご記入ください。			
②. その他、ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。			

27

第76回日本公衆衛生学会 in鹿児島

一般示説(ポスター)

演題名: 国保データヘルス計画の立案とPDCA
サイクルに関する研修前後の知識獲得状況

28

今後の取り組みについて

○第1期データヘルス計画及び個別保健事業
計画の振り返り(評価)

○第2期データヘルス計画及び個別保健事業
計画の策定支援 等

※平成29年度の国保・後期高齢者ヘルスサ
ポート事業の申請保険者(12保険者)以外の
対応 ⇒ 市町事務支援訪問事業

29

ご清聴ありがとうございました



長崎県国保マスコット「すこやかくん」

30